

旧両町民の交流・  
公民館活動への支援

**問** 旧両町民の積極的な交流を図り、御前崎市民としての一体感を持つための施策は

**問** 公民館の特色ある活動への支援は

**答** 前段の二質問は同一の質問と受け止めます。市民一体感の施策として、市民全員が参加できる市民体育大会の開催、市民の文化芸能事業の発表会等、関係方面のご協力を頂き推進します。公民館活動への支援については、両町とも永い歴史と文化を持っており貴重な歴史と文化は、次世代に引き継ぐ大切な財産であります。各公民館ごと、今一度地区を見直すことが肝要と考え地区民のニーズに答える公民館活動の支援を行政として進めなくてはなりません。文化伝承の

活動拠点としての公民館活動の活性化を図ることを支援と捕らえ、併せて公民館活動の充実が「新市民の一体感」を持つ施策の推進につながるものと考えます。

タウンミーティング

**問** 対話あるまちづくりの実現にむけてタウンミーティングの今後の方針と予定は

**答** 私の市政運営の基本は開かれた市政の実現であり、具体的には対話のあるまちづくり風通しのよい行政運営を心がけております。この観点から具体的なスケジュール等は助役等の執行部体制を整えまして早急に実施時期等も検討して参りたいと思っております。

総合計画策定について

**問** 将来を展望した総合計画を策定するに当たり、地域格差を生じないよう配慮した、地域振興施策を展開することが大切と思うが考えは

**答** 旧両町では高齢化率もとより、産業構成、生活環境条件等の格差があります。旧両町との格差、地域内では中心地、周辺地域との実情を把握し、アンケート調査等を実施し市民の意見を反映した「総合計画」の策定を進めます。

**問** 外から人を呼び込む施策交流人口を増加させ、各地域の魅力を生かした住民参加の元気な産業づくりに対する考え方は

**答** 地域の立地条件、特性

を生かした新たな施策展開が求められています。今後各産業間との連携、方向性について意見を聞きながら、企業誘致と元気な産業づくりを「総合開発計画」の中で取り組んで行きます。



**問** 高齢化社会の一環として歩道や交通危険箇所交通安全施設を優先して市民が安全安心して暮らせる環境づくりに対する考え方は

**答** 高齢化に対する交通安全施設整備につきましては地権者等の難しい状況もありますが、新たな道づくりや拡幅改良する道路については、歩行者の安全を優先に、交通安全施設の充実に努めてまいります。